

平成 30 年度第 1 回佐倉市入札監視委員会議事概要

日 時	平成 30 年 7 月 30 日（水） 午前 10 時 00 分～正午
場 所	佐倉市役所 議会棟第 2 委員会室
出席者	<委 員> 湯川委員長、野村委員、金子委員 <事務局> 契約検査室 <担当課> 資産管理経営室・建設課・維持管理課・指導課・道路維持課
【議事概要】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> ○委員長の選出について 委員の互選により湯川委員を委員長に選出しました。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;"> ○委員長職務代理者の指名について 委員長の指名により野村委員を委員長職務代理者としました。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ○議題 1 入札・契約の手続きの運用状況等について 平成 29 年 10 月から平成 30 年 3 月までに実施した一般競争入札・随意契約・低入札価格調査実施案件及び指名停止業者について、事務局から報告をしました。 </div>	
[主な質疑] (質問) 指名停止はこの期間が経過すれば、その後に不利になることはないのですか。 (回答) 基本的には、その後に不利になることはありません。 しかし、工事とコンサルタント業務については成績評定点をつけており、60 点未満になると次の年の発注予定件数の 3 割程度に入札参加ができないという制限がかかります。例えば履行遅滞という理由で指名停止がされ、その評定点が 60 点未満となりますと入札参加に制限がかかることもあります。 また、一年以内に同じ理由で指名停止がされる場合には、指名停止期間を 1.5 倍や 2 倍にできる規定もあります。 (質問) 低入札価格調査の委託業務の中で公園管理などかなり低い落札率のものが見られますが、何か特殊な事情でもあるのですか。 (回答) 複数の案件が同時に発注される中で、会社の事情でどうしてもこの案件は受注したいという考えが働いたものには安い金額で入札する傾向があります。 (質問) 安い金額で受注した場合に、会社に無理がかかっていないか、また、従業員にそのしわ寄せがっていないかなど何か調査などはしていますか。 (回答) 直接、従業員に対する調査はしていませんが、低入札価格調査を実施する中で、なぜその金額で入札したのかや賃金の予定額なども調べています。その中では、多少会	

社の利益を削ってでもその案件は受注したいという会社の意向があることも伺われます。

○議題2 制限付き一般競争入札参加資格の設定経緯等について

平成29年10月から平成30年3月までに実施した一般競争入札・随意契約の中から当番委員が抽出した10件の案件について、事業担当課職員による事業説明及び質疑応答を行いました。

[主な質疑内容]

案件①佐倉ふるさと広場管理棟外改修機械設備工事（一般競争入札）

(質問) 落札率が約99%と高いですが、どのようにお考えですか。

(回答) 資材の単価が上昇していることや労務者の確保が困難であることが要因と考えます。

(質問) 参加資格要件に該当する業者数はどのくらいですか。

(回答) 市内業者で22者います。

(質問) 1者の入札では競争が働かないことも考えられますが、どのようにお考えですか。

(回答) 管工事に登録している業者でも道路下などへの配管が得意な業者や今回のような給排水設備が得意な業者など特色があり、この分野を得意とする業者は複数確認しています。また、発注するタイミングによっては業者さんの手持ち工事などの関係で参加してこないということも考えられます。

案件②佐倉市消防団第6分団54部機庫新築工事（一般競争入札）

(質問) 落札率が高く、1者のみの入札ですが、どのようにお考えですか。

(回答) 資材単価の上昇や労務者の確保が困難であることなどが要因と考えます。建築一式工事につきましては、不落不調の割合が他の工種より高いので、1者の参加でも契約が成立したことは、事業の執行に遅れが生じないという点で安心したというのが正直なところです。

市としましては、発注する時期を見ながら、一度不調になっても時期をずらすなどして参加していただけるよう期待しているという状況です。

(質問) そのような不落や不調といった状況は続いているのですか。

(回答) ここ数年同じような状況が続いています。

(補足) 先ほど担当も申し上げましたが、建築工事になりますとオリンピックなども影響があるようですが、民間発注の工事が堅調のようで、市が発注する工事につきましては金額により差はあるのですが、1者しか参加者がいない場合や参加者がいないということが今年度も続いております。

案件③市民音楽ホール改修建築工事（一般競争入札）

- （質問） 落札率が約 99%と高いですが、どのようにお考えですか。
- （回答） 資材単価の上昇や工種が多岐にわたったために高落札率になったと考えます。
- （質問） 参加者のうち 2 者が辞退されていますが、その理由はどのようなものですか。
- （回答） 積算の結果採算が合わないという理由で両社から辞退届が提出されております。
- （質問） 再度公告で落札になったようですが、1 回目と 2 回目の間の期間はどのくらいだったのですか。
- （回答） 1 回目は 12 月 5 日に公告しました。2 回目は 1 月 9 日ですので、約 1 か月の間が空いております。
- （質問） 工事の内容や予定価格は同じですか。
- （回答） 工事の内容を一部見直しました。ホールの客席の椅子を更新する工種ですが、特殊な材質で作製しており工場制作の期間が数か月かかるため再度公告に含めると納期が間に合わなくなる恐れがありましたので、そちらを別発注としました。
- （質問） 工種を小さく分けたほうが良いのか、まとめて金額を大きくしたほうが良いのか、どのようにお考えですか。
- （回答） 今回は専門性の高い部分を分けたために契約が成立したものと考えます。特殊性や専門性なども考え、その都度良い方法を考えていきます
- （要望） どの時期にどのような方法でという工夫をぜひ続けてください。

案件④佐倉市民音楽ホール天井改修工事監理業務委託（随意契約）

- （質問） 随意契約の理由を教えてください。
- （回答） 音楽ホールですので音響性能には特段の配慮が必要となり、既存天井材・形状を維持したままで対策を講じることが出来れば、大きな影響を与えずに済み、また、近年では、既存の天井を残しての施工する工法開発が進んでいることから、提案者の持つ、特殊かつ優れた技術を最大限活用するため、設計・施工（・工事監理）を一括とした技術提案を広く求められる「公募型プロポーザル方式」により実施することにしました。
- （質問） 特定天井とは何か具体的に教えてください。
- （回答） 吊り天井であること、天井の高さが 6m を超えていること、天井の面積が 200 m²を超えていること、天井材の質量が平米あたり 2 kg を超えていること、人が日常利用する場所に設置されていること、これらをすべて満たすものが特定天井となります。
- （質問） 1 者からの申請となっていますが、ほかにも参加できる業者はいたのでしょうか。
- （回答） 発注する前に複数社に調査したところ、同様に自社工法を持つ業者はほかにもいることを確認しております。

案件⑤佐倉市公共施設包括管理業務委託（随意契約）

- （質問） 随意契約の理由を教えてください。

(回答) 本業務で、多数の施設・設備の維持管理業務について、一元化することによる効率化や点検・保守内容の適正化を図り、適切な修繕計画を策定するため、建築・設備に関する専門的知見や、多数の施設を一元的に管理する適正な手法等について、事業者の持つ知識やノウハウ等を総合的に評価できる公募型プロポーザル方式を採用することにしました。

(質問) 事業場所が佐倉市役所外となっているが、市内の施設全部が含まれるのですか。

(回答) 公民館や学校など 91 施設です。指定管理者の施設以外はすべてですが、直前に指定管理者から市の直営施設に戻ってしまった施設については予算措置が間に合わず含めておりません。

(質問) 具体的にどのような業務を行うのでしょうか。

(回答) 消防施設の点検や受水槽の点検清掃、エレベーターの保守など主に施設の運営に必要な点検業務を行っています。

(質問) 金額の 3 億 5 千万円というのは 1 年間ですか。

(回答) 3 年間での金額です。

(質問) この受注業者は以前も佐倉市の業務を請け負っていたのですか。

(回答) 佐倉市では初めての業者です。しかし県内では流山市や我孫子市で同じような業務を請け負っています。

(質問) このような市全体での一括した業務の発注というのは一般的なのでしょうか。

(回答) ここ数年増えている傾向ではあります。現在まだ多くの団体が行っているわけではございませんが、このようなやり方を考えているという団体は多いです。

(質問) 佐倉市では今年度からが初めてとのことですが、従来のやり方と比べてどのような効果がでていますか。

(回答) 所属ごとに行っていた契約事務がなくなることにより、人件費の削減が図られます。

(質問) 一括した結果、市内の業者さんの仕事がなくなってしまうということはありませんか。

(回答) 大手の業者が一番上に立ってはいますが、91 施設ありますので個々の業務はほかのいろいろな業者をお願いすることになります。その中で、市の業務を受注していた市内の業者などに声かけをして業務を遂行しているため仕事がなくなってしまうということはありません。

(質問) 上に立っている業者はいわゆる中間マージンを取っているだけではなく、どのような点で効率化が図られているといえるのでしょうか。

(回答) 市内全体を一つの目で見てもらえるということは業務の質が同じ基準ですべての施設で行ってもらえますし、市内の施設のデータが統一されるという点では効率化が図られたと考えています。

(要望) 一括することは競争原理が制限される部分もありますので、金額か質かどちらを優先するかというバランスも含めて 3 年後に続ける又は見直すかということも検討でき

るようしっかり効果を検証してください。

案件⑥ 29改水－04西志津二丁目地先水道管耐震化工事（一般競争入札）

（質問） 落札率が高い理由をどのようにお考えですか。

（回答） この現場は施工条件としては工事をやりづらい場所です。業者としてはできれば満額に近い金額で請け負いたいと考える中で、出してきた金額と考えています。

（質問） 辞退した業者がいますが、理由は何ですか。

（回答） 「この工事等を受注した場合技術者等の確保が困難である。」という理由で届け出がありました。参加申請の段階ではいろいろな工事がありますのでエントリーしたものの、入札の段階で社内の技術者をどの工事に充てようかと考えたところこの工事は手を引こうと考えたものと推察しております。

（質問） 格付けが変わるといえることはありますか。

（回答） 入札参加資格者名簿は2年間有効となりますが、当初作成する段階での経営事項審査の評点をもとに格付けしております。その後、格付けをし直すということはありません。

（質問） 格付けの「A」「B」「C」というのは経営状況の評価で決まるのですか。

（回答） 経営事項審査の評点は、その会社の受注高などの実績や技術者の人数などをもとに点数化しております。佐倉市では700点以上を「A」、600点から699点を「B」、600点未満を「C」としております。

（質問） 格付けをどのように制限していくかということは、その工事の内容によって考えるものなのですか。

（回答） 佐倉市の資格要件設定基準というものがあり、業種ごと、予定価格ごとに標準を決めています。基本的には今回の工事もこの基準のとおりとなっております。

案件⑦ 29改水－58白銀二丁目地先水道管耐震化工事（一般競争入札）

（質問） 落札率が高い理由をどのようにお考えですか。

（回答） 同日に同業種の工事が複数件公告されており、業者としても施工しやすい場所かどうかなどの条件を選択しながら入札に参加したため、高い落札率になったと考えます。この事業場所は住宅地であり、好条件とは言えない場所となります。

（質問） 6者参加して1者のみ入札しているようですが、未入札と辞退の違い、また辞退の理由はなんですか。

（回答） 未入札とは、入札期間に入札をしてこなかった方、辞退とは入札期間中に辞退するという会社の意思表示をしてきた方となります。辞退理由ですが、「積算の結果採算が合わない」との理由が1者、「この工事を受注した場合の技術者等の確保が困難である」との理由が1者でした。

（質問） 公告の中で「平成29年8月22日公告「29改水－18高岡・白銀二丁目地先水道

管耐震化工事」を落札した方は、入札参加申請をすることができません。」となっていますが、それはどういう理由からですか。

(回答) 近接工事といいますが、それぞれ工事の最も近い場所が直線距離で 100m 以内の工事になります。高岡・白銀二丁目地先の工事を落札した方が、この工事に参加しなると近くに現場を持っていますので資材置き場を共有できるなど経費的に他の業者より価格面で有利になってしまいます。公平性という観点から参加の制限をしたものとなります。

(質問) 安くできるのであれば価格面でメリットがあるのではないかと思いますがいかが。

(回答) そのように考えることもできますが、やはり競争の公平性を担保するという意味での配慮です。

案件⑧ 29 原修 - 3 1 南部 2 号井修繕工事 (一般競争入札)

(質問) 落札率が 100% で高く、資格要件的には 30 者以上いるようですが、入札は 1 者となった理由はどのようにお考えですか。

(回答) この工事はかなり特殊な工事となります。水中カメラを使いながら慎重に行わなければならない難易度が高い工事のため落札率が高く、参加者が限られてしまったものと考えます。

(質問) この井戸はだいぶ古いものなのですか。

(回答) 最初に掘ったのは昭和 40 年代だと思いますが、今回破損した二重に管を敷設したのは昭和 56 年に 1 回しております。30 数年してまた破損したので今回の工事を行いました。現在、条例で新たに井戸を掘ることができないため、既存井戸の修理ということになっております。

案件⑨ 平成 30・31 年度白井・千代田地区学校給食業務委託 (一般競争入札)

(質問) 同時に学校給食業務委託が 5 件出ています。それらの落札率にひらきがあるのですが、何か違いというものがあるのですか。またこの事業は落札率が高くなっていますがどのようにお考えですか。

(回答) 事業の規模の違いがあるかと考えます。2 件は比較的規模が小さいもので落札率も似たような率となっており、後の 3 件は規模が大きくやはり落札率も似たような数字となっております。また、市内に大型の商業施設が新たにオープンしたことにより、人材を確保するためには時給を上げざるを得なくなった結果、落札率が高くなっているのではないかと考えます。

(質問) 実際働いているのは市内の方が多いのですか。市内業者で受けることができる業者はいないのですか。

(回答) 実際働いている方は市内の方が多いです。また、市内業者では難しいと考えます。

(質問) 入札辞退した業者が 2 者いますが理由は何ですか。

(回答) 1者が、この業務を受注した場合人員の確保が困難であるという理由、もう1者は別の案件に参加しているためという理由で提出されております。

(質問) 夏休みや冬休みがあり、雇用形態が難しいと思うのですが、何か採用でのご苦労とかは聞いていますか。

(回答) 働いている方もお子さんがいる方が多いので、子供の夏休みに合わせて休めるので助かるという方が多くいるということは聞いております。各学校に2名の正社員を配置していただきその他はパートさんです。

(質問) 2年ごとに入札を行うようですが、業者が固定されているというはありますか。

(回答) 入札の結果、過去2回は今回と同じ業者ですが、その前の2年間は別の業者が受けておりました。

(質問) 業者が変わった場合、そこで働いていた方たちは引き継がれることになるのですか。

(回答) 引き継がれる場合が多いです。

(質問) 市内の給食献立は教育委員会が考えているのですか。

(回答) 各学校に栄養士が配置されており、献立も栄養士が決めております。佐倉市では全校自校給食となっており評判も良いものになっております。

案件⑩平成30年度 JR 佐倉駅自由通路定期清掃業務委託（一般競争入札）

(質問) 落札率が20%台とかなり低いと考えますが、どのようにお考えですか

(回答) 過去3ヵ年を見ますと、ほぼ同様の落札率で推移しております。この業者はほかに市内で現場を持っているので、作業員は新たに雇うのではなく、正社員を当てて効率的に行えるとのことでした。

(質問) ここ数年間20~30%程度で落札されているとのことですが、予定価格の妥当性をどのようにお考えですか。

(回答) 安い業者がいる一方で予定価格に近い金額の業者もおりますので妥当と考えております。

(質問) 安い金額で受けた結果、業務の結果に問題があったということはないですか。

(回答) 作業に対する検査の結果問題となる点はありませんでした。

(質問) 駅の通路はJRの管理ではないのですか。

(回答) 以前はJRの管理でしたが、電車が終わってしまうとシャッターを閉めてしまうため通行できずに大変不便だということで、24時間通行できるように市が引き取り管理しております。